

〈翻刻〉 『翻譯満語纂編』抄 その一

赤峯, 裕子
純真女子短大常勤講師

<https://doi.org/10.15017/15480>

出版情報 : 文獻探究. 24, pp.57-75, 1989-09-20. 文獻探究の会
バージョン :
権利関係 :

一書誌

長崎県立図書館郷土資料室所蔵の『翻譯滿語纂編』は全十冊の写本である(注一)。各表紙の右下隅に全十冊と朱書されているので完本であると思われる。書型は大本にほぼ同じく、表紙は表裏とも無地の厚手の紙の二つ折りである。表紙まで中とじのみでとじてあり、丁付けは全くない。用紙は補修され、全丁裏打ちされている。以上が全体の概略である。次に今回紹介する三冊の各冊について、簡単に述べる。

一之上巻(二一・八×三〇・九)は表紙中央に「翻譯滿語纂編一之上巻」と記されている。題簽はない。序三丁、凡例四丁、清文字頭國字對音及び對音讀法二丁、本文四十丁、以上墨付き五十丁。序題は「翻譯滿語纂編序」、序末には「嘉永四年辛亥仲秋」

馮瑛
清學參贊 鄭昌 全謹識

陳勛 「とある。内題は「翻譯滿語纂編卷一」である。

一之下巻(二一・九×三〇・九)にも題簽はない。表紙中央に「翻譯滿語纂編一之下巻」とある。序なし。本文四一丁のみ。内題なし。

二輯上(二一・七×三一・六)、表紙中央に「翻譯滿語纂編二輯上」と題す。題簽なし。序二丁半、名簿一丁、本文四五丁、墨付き計四九丁。序題はなく、一之上巻と同様、序の末尾に「嘉永壬子

仲秋日

馮瑛

清學參贊 鄭昌 全謹識

陳勛

「と記す。内題はない。

※注一 参考文献①②(後述)などによれば、金澤庄三郎博士所蔵の三輯六冊があったようである。

二解題

『翻譯滿語纂編』は長崎の唐通事の手になる、満州語と日本語の対訳辞書 満和辞書である。

文化五年十一月、満州語を唐通事に、ロシア語英語を蘭通事に学ばせよとの命が江戸から下った。それは、同年のイギリス船来崎事件を直接の契機とするものであったらしい。さらに、それ以前の二月にはフランス語を蘭通事に修得させることが命じられており、文化八年から十三年にかけて、英語フランス語ロシア語オランダ語の各和訳辞書が成立するのだが、満州語の辞書が出来上がるのは命じられてより四十余年を経た嘉永安政のことになる。『翻譯滿語纂編一之上巻』の序をみると、途中二度ほど中絶していることがわかるが、その中絶の理由など詳細は不明である。嘉永三年の秋に三度の命を受け、翌年一之上・下巻が完成した。その後は二輯上・下が嘉永五年に、三輯上・下が嘉永六年、四輯上・下が嘉永七(安政元年)、そして五輯の上・下が安政二年に、順次成立している。

その内容は『増訂御製清文鑑』の翻訳である。もともと『増訂御

『製清文鑑』は部類別の辞書であるが、『翻譯滿語纂編』では、単語の第一文字別に改編してある。また同郷土資料室には『増訂御製清文鑑』をそのまま翻訳した『清文鑑和解』或いは『翻訳清文鑑』と題する五冊(端本)の写本も保管されているが、これも『増訂御製清文鑑』の全訳ではなく、『翻譯滿語纂編』にしても完結したわけではなかった。結局、三度目の企ても、幕府瓦解へと続く混乱のため、永久に中断して終わったのである。

二輯の序に、「今臆清して檢閲するに及び譯す所の訓詁崎邑の俚言尚ほ多し。皆學生幼きより土語に熟讀するより、逐浪隨波、因循にして悛めず。職より此の由なり。今國譯を遵照して刪正せんと欲するも恐らくは急切に變更すること難からん。故に陋にして已に甚だしきを除請する外は姑且存留せしむるなり。」とある通り、訳文中には長崎方言が散見する。こうした態度、即ち和訳に際してあえて方言を隠さず、訳語の平易さを心がける態度は、唐通事・蘭通事に共通し、また以前からの伝統でもあった。例えば、唐通事出身の岡島冠山の著した唐話辞書類、また、文化五年の命によって編まれた蘭和辞書『ズーフハルマ』にも長崎方言の存在が確かめられている。

『翻譯滿語纂編』のもう一つの特色は、翻訳に従事したものの名簿が各上巻の序の後に載せられ、また担当の部分ごとに氏名が記されている点である。これによつて、通事の個人差も探ることができるのではないかと思うが、この点も含め、長崎方言の吟味など、別の機会に考えたい。

以上のことから、長崎方言に重点を置いて、項目の取捨選択を行った。翻刻は漢語の項目と日本語訳文に限り、満州文字の部分及びそれに付されたかなの音注は除いた。本文の体裁は図一を参照されたい。訳文の漢字かたかな混じり文の表記は宣命書きに似て、

かたかなに大小、左右の書き分けがあるが、ここでは特に区別しなかった。また一部、漢字の字体を改めたものがある。↓煮など。訳文中の句読点、及び漢語の項目の下の丸(○)は朱で施されているものである。

虫損などによる不読部分については、本文中は⋮を、序文中は□を用いて表す。字数は前後から見当をつけた場合もある。

項目の所在は丁数によつて、¹⁾のように示す。つまり、¹⁾までが十六丁の裏である。

参考とした『翻譯滿語纂編』関係の文献は以下の通りである。

- ① 「東洋語比較研究資料」 金澤庄三郎(『國語の研究』所収 明治四三年刊)
- ② 「高橋景保の満洲語学」 新村出(『東方言語史叢考』所収 昭和二年刊)
- ③ 「長崎唐通事の満洲語学」 同右
- ④ 「崎陽訪古志」 武藤長平(『西南文運史論』所収 大正十五年刊)
- ⑤ 「鎮西の支那語研究」 同右
- ⑥ 「長崎通事の満洲語学」 上原久(『言語学論叢』十一号 昭和四六年)

三翻刻

一之上巻

翻譯滿語纂編序

蓋聞滿洲起自北邊一小邦而疆域漸廣然未與 本朝來往交好故其國俗典籍從來渺茫無人認識固非重譯弗克暢通向蒙 憲命繙譯不成而止者^{一)}

再駕茲於庚戌之秋復奉

旨意諱示顯定隨邊志學者教以字母次

立科目使衆證韻學明對音拏拾遺方

鄉俗玩索外夷土音以及二合三合乃

至數字聯串切音之法列欲習學并二

有條翕張俱中揆察毫不紊亂然後點

識去就離合之要諳記背誦戮力攻習

肄業不懈屢勉砥勵匪朝伊夕今也幸

值

聖治隆化之興唯賴乾隆增訂清文鑑一二

部闡開廣文之門譯言甫能就緒又其

繁簡錯綜者藉以漢俗之語音擴而充

之躡以我 邦訓詰補而綴之始得縱

橫無礙則蒐羅三國之葛藤可以一言

而貫之矣且與滿人雖未親晤晤談亦二

已覘獲於靡微深濼之中於是乎學者

樂而益勤躍然於公務之外爭光鬻采

鶴起文壇抑且瓶業備警未必不階於

此忝聞者亦相鼓吹樂觀其盛因叙舊

言以述其事云爾一二

嘉永四年辛亥仲秋

馮瑛

清學參贊鄭昌全謹識

陳勛

凡例

一 夫此編ヲ纂スルハ滿洲通語脩學ノ試業課目ヲ設ケ清文

字母句首ニ置テ語ヲ成ノ要八十七字ヲ舉テ學人十四名ニ

分派シ字母ノ次第ニ順ヒ每字ニ三句或ハ五六句綜計

四百零二句ノ詞ヲ譯編シテ冊ヲ成シ翻譯滿語纂編ト

標題シ每歲抄本二三冊一四

公廳ニ進呈ス各自二頭幾十句ノ下ニ其姓名ヲ

書載スルハ此際脩學開創ノ功ヲ見ス為ナリ

清文字音ハ漢字ノ音釋ニ因テ發音スル所最精微ナリ

今國字ヲ以テ細ニ音釋ヲ加フト雖氏悉ク牽引的準スル

コト能ハス況其口ヨリ出スハ漢音精通ニ非スンハ更ニ難シ

然ク如此ト雖氏其字有テ豈其音無ランヤ故ニ唯一四

讀易キタメ 本朝五十音ノ例ヲ援テ音註ヲ施ス但其中

確實ノ音韻ニ協サル所有ヘシ若詳略得中センヲ要セハ

須ク口授ニ據ヘシ

滿語句毎ニ漢字ノ譯アリ加之清文ノ註詞ヲ啓發シ

翻譯ヲ加ヘ其理ヲ暢ヘテ事物詳カナレハ本文ニ和解ヲ

加ヘス清文恰モ國字二以テ同文異義スル事一五

アレハ詞ハ層見叠出二同カラス総而虛字ノ

言葉違ヒ漢字ノ與義ニ至ラス漢字モ亦和語の簡ナルニ

及ハサル事アリ此ニ由テ漢字用サル能ハスト雖氏

專ラ漢字ニ依テ解セハ義深シテ却テ言葉離ル事アラン歟

因テ訓詁ヲ異ニシテ偏ニ理會ノ速ナルヲ要トス

清文虛實ノ助字アリテ能演ニ緣リ其意義ヲ表裏ニ一五

轉易ス乃 本朝ノ字訓ニ扇ト云ヘル實字ヲ扇ト

云ヘハ虛ニ變ルノ類ヒ清文ニ比較シテ毫釐モ違フ事ナシ

原ヨリ助語テニヲハ有テ備サニ文意ヲ述ト雖氏事情

聯貫ノ宜ニ從ヒ或其詞質ヲ失ハン事ヲ患ヒテ用ル所ノ

テニヲハ晝一セサルヘシ和語ニハ日月ト云フ

如キ清文ニモ雄雌横縦ト□□類ヒ尤多シ皆ハナク

本朝ノ句調ニ枋フ又形勢聲響ニ屬スル詞ハ人ノ

耳目ニ觸レハ異國ト殊ル事アリ能其意ニ協フモノハ

和訓ヲ用レレ僅鄙ニ渉ルモノハ只字ノ傍ニ其形勢ノ

意ヲ記ス現今清文翻譯創業ノ節學者専心研究スルト

雖氏尚其深界ヲ指ス事能ハス必ス後明ノ添削ヲ

俟而已左ニ衆學者姓名ヲ列スハナク

穎川 君平 雅範

石崎 次郎太 親之

彭城 助次郎 種美

穎川 藤吉郎 道香

游龍 彦三郎 俊之

彭城 常三郎 雅美

穎川 保三郎 春重セキ

鉅鹿 太作 篤義

神代 時次 定光

彭城 大次郎 昌宣

鄭 右十郎 永寧

彭城 定三 廣林

高尾 宗三 延之

蘆塚 五郎助 恒徳キチ

清文字頭國字對音 對音讀法 (略)

平野 繁十郎 祐長

鄭 幹輔 永昌同訂

穎川 藤三郎 道恭シキウ

翻譯滿語纂編卷一

鄭 永寧 譯編

風蘭。根ヲ土ニ栽エズ、蔭ノ處ニツリ、水ヤ茶ヲ振カケ潤ホセバ、

自然ニ莖葉生エ、花開也、葉ハ冬キタ夏永ク青ク、花ハスコ

シ黄ニシテ白シ、ハナツキハ蘭ヨリ細シ、

日天壺。漏壺ノ第一ニ有モノヲ、日天壺ト云フ、真鍮ニテ作りタル

者也、形ハ斗ハツノ如ク、高サ一尺七寸、上濶一尺九寸、前ノ底

ニヨセテ水ノ滴ル玉ノ管ヲツケ作レリ、此内ノ水、夜天壺ニ

オツルナリ、シキウ

匾額。宮殿廟署ニ掛クル、字ヲ刻タル木ノ板ヲ、匾額ト云フ、又舉

人進士ナトノ門ニ掛クルモノヲ、亦匾額ト云フ、

經綸。繁亂ヲ條理ニ治メ得ルヲ、經綸ト云フ、是ハモツレタル絲ヲ

トキワケ、一處ニ合セテサバクニ鬢エルナリ、

犀。牝牛イウシニ畧同シテ猪ノ頭ナリ、三ツ角ニツ角一ツ角ナルモ、シキウ

皆有リ、此角ヲ米ノ内ニ置タルニ鷄驚テ避ルナリ、

沫子燒酒。酒ノ糟ヲ鍋ニイレ、溜子ウシビキヲ組テシカケ、初メニヒイテ取

シ燒酒ヲ、沫子燒酒ト云フ、シキウ

涉水皮岔褲。凡ノ生皮ヲ脚ヨリ臍ニ届ク程ニ作り、川ヲ渡ルニハク

モノヲ、皮岔褲ト云フ、又脚ニ合セテ、其耳ニ紐ヲ通シハク

者ヲ、亦皮岔褲ト云フ、

石榴。木ニ生葉子、花赤シ、實ハ梨ノ大サ、殼厚ク硬、殼ヲワリ、

ミノ汁ヲカミシホリニミエタ子ヲ棄ルナリ、

傳。賢人ノ編ミ作りシ書ナリ、世ニ傳ユベキ事トモヲ記ルシ作りタ

ル書ヲ、傳ト云フ、シキウ

連七紙。棉ノ實ヲ、研水ニヒタシ紋ヒキ作り七張連紙ヲ連七紙ト

云、彩色ニ染メ用フル、一十五ウ

王瓜。瓜ノ名、色緑、長キモノ横大キモノ同シカラズ、生モ喰ラ

レ、煮熟シ喰モヨシ、一十五ウ

誅。シニクルアトニテ後イラシテ其行アル事ヲ、列寫追ツツカサモイテ、ナヤキ歎作タル書ヲ誅ト云

一十六オ

披箭。羽ハ、マト箭ノ羽ヨリ直クニシテ矢ジリ厚キモノヲ、披箭ト

云、獸ヲ射ルニ用フル、一十七オ

珍珠。蛤ノ内ニ生ル、色雪白シテ圓ク、光リ有リ、大小同シカラ

ズ、飾ニ用フル、ハナクリ

寶沙。玉石等ノ物ヲ、鏝ニ用フル沙ヲ、寶沙ト云、一十七ウ

司經局。經書、檣案、書籍ヲ収メ、貯タケワユル等ノ事ヲツカサドルトコ

ロヲ、司經局ト云、一十八オ

青金石。石ノ名、色青ク、綠松石、珊瑚等ノ石ニ同ジ、
黄酒。焼酒ノ類、アハ、ヒへ、等ノ、穀ヲ飯ニ焚キ、釉ヲマゼテ作

リタルモノヲ黄酒ト云、黄酒ノ甚多シ、一十八ウ

沙鷄。半翅ニ同シ、足ノハラハ兔ノ足ニハラ似リ、冬ノ節ニ羣、
飛フ飛フニ響アリ、ムラカシ

酒漏子。酒シボルニ酒ヲイル、臍穴ノ有ル木ノ桶ヲ酒漏子ト云、

堅強。凡ソ耐シノグレトコロヲ常ニ勉メテ忍ビト、ケルヲ、堅強ト云、一十

扎擇。凡ソ事ニ耐シノギガクシテ勉ツツカサニ行クヲ、扎擇ト云、

閑。河ノ両方ヲ石、カハラヲツミ中ヲ板ニテ閑水ヲセクモノヲ、

閑ト云、一十九ウ

神代定光 譯編

天鷲。家ニオル鷲ニ同ジ、體大ク、尾羽甚ダニオ白シ、

急爽。事ニ眼、快結ハヤイトリシマウヲ急爽ト云、一二十ウ

御前侍衛。侍衛ノ輩ノ内、美姣モノヲ選ミ、ミヨシ御前近ク服事ヲ

、御前侍衛ト云、

跳城。城郭ヲ攻ムルニ、勇ヲ出シテ前上スエミナヲ、跳城ト云、一二十オ

金吾。小鳥ノ名、不祥ヲ避ヒクルヲ能クスルニ因テ、棍ノ尖ニ畫テ雕

ツクルナリ、

角硯。牛ノ角尖ニ邊ヲ截キリ、クリテ虛ニナシ、墨汁ヲ盛モノヲ、角硯

ト云、黃銅ニテ製タルモ有リ、一二十ウ

彭城廣林 譯編

茨菇。蒲草ノ根ノ旋ノ處ニ生スル、容蒜ニ同フシテキレメナシ、

味甘クシテ淡、一年ニ十二生ス、閏月アレハ十三生ス、一二十ウ

捕役。賊、逃、等ノ犯アルモノドモヲ捕人トケルヲ、捕役ト云、

商人。價ヲクテ、有ル物ヲ無キニ易テ、營生ヲ勉ムルヲ輩ヲ、商人

ト云、一二十オ

顯微鏡。眼鏡ニ同シ、細カニアルモノヲミルニ、大クナリテミユル

モノヲ、顯微鏡ト云。

鉢。戒ヲ持タル和尚タチノ用ユル、圓形ノ碗ヲ、鉢ト云。二三ヲ

墨。油ヲ燻シ煤ヲ取り、罌ニアハセ、カタメテ作りタルモノヲ、墨ト云、書キモノスルニ用ユ。

米漏子。米穀ヲ、ナニソノ器ニ入ルトキ、用ユル器ノ名、一端ハ喇叭ノ形、一端ハ下結、鐵、鎮鎗、荆條、柳條ニテ作りタルモノ、ミナアリ。

曲壇。濕地ニ生ス 身圓シテ長シ、色淡黒長短同シカラズ、此ヲ以

テ魚ヲ釣ニ用ユ。二三ヲ

月羅。小戲ニ用ユル織ノ名、手ニ持チ撃ナリ。二ハオ

石寄親之 譯編

飯。凡米ヲ淘、炊キタテ喰フモノヲ、飯ト云フ、

米湯。煮タル飯ヲ 撈、餘剩水ヲ米湯ト云フ、二三ヲ

硬物墜地聲。凡小クシテ硬物ノ落タル聲、

菓連落聲。木ニ生タル果、風吹ノニ只管凋落聲、

嘴飄。扯手拉 馬ノ口、散妄ニ揚ヲ、嘴飄ト云フ、三三ヲ

毘盧帽。和尚們ノ穿冠ノ沿ニ、毘盧佛ノ形相ヲ画キタルモノヲ、毘

盧帽ト云フ、

皮箱。臥櫃ニ畧同クシテ、薄キ板ヲ皮ニテ緋、畧扁拵へ、何

物ヲ入レルモノヲ皮箱ト云フ、三三ヲ

枇杷花。木幹也、葉ハ驢ノ耳ニ畧同フシテ 葉黃 刺有リ、花白ク、

冬開ク、四季黄バマス、三三ヲ

禪室。和尚們ノ心ヲ清クシテ、靜ニ坐ル家ヲ、禪ト云フ、三三ヲ

鐵尺。鐵ヲ折尺ニ同ク、柄ヲツケテ打タテ、身ヲフセグニ用ユル者ヲ、鐵尺ト云フ、

鐵鎖。鐵ヲ長キ輪ニ作、段段ニ結テ打タテ、罪人ノ手足ニ勾モノ

ヲ鐵鎖ト云フ、又凡物ヲ堅固ニ連絡ニ亦用ユルナリ、三三ヲ

車。輾輪ナドヲ、組ミ立テ、馬牛等ノ牲畜ニ套、人乗り、物運モノヲ、車ト云フ、

鐵鎚。鐵ヲ、筒切木ノ如ク、中程ニハメクヲ作り、柄ヲスゲコミ

折打ニ、用ユルモノヲ、鐵鎚ト云フ、

鐵錠。鐵ヲ元宝ヨリ稍大ク、中程ヲ細ク、両方ヲイカルヤウニ鑄タ

テ、橋ニ鋪石ノ出合ノ處ニ跨上、離レヌヤウニ用ユルモノヲ、鐵錠ト云フ、三三ヲ

野蒜苗。野ノ菜也、葉ハ蒿蕒草ノ葉ニ同シクシテ小ク、光沢アリ、

莖ハ蒜ノ莖ニ同クシテ高ク、味ハ小狼菜ニ同シ、淹味、生ニテ亦喰、氣味ヨロシ、

游龍俊之 譯編

榛子。榛ノ木ニ生菓ノ名、松子ヨリ略大クシテ圓殼硬、殼ヲワ

リ、仁ヲ食ナリ、三三ヲ

小豆。豆ノ類豆ヨリ略小シ、紅白二種有リ、飯ニ與茨、蒸菓子ノ餡

ニ入レ、大豆アツケタル菓子 二貼也、粉ニヒキ顔手ヲ洗フ様ノ事ニ用
ユルナリ、

莖草。莖細ク節短シ、カタチ利實、骨木ヲミカキ光頭ツケルナリ

黄楊木。此木ミトリ高シ、枝梢密ミ葉綠色也、花開カス實生ラス、

木質細カニシマリ、梳ヲ作り印ヲ彫テヨシ、

粟。木ニ生スル果ノ名、奈ヨリ小クシテ略長シ、タ子ノ兩ニモキハ

シトカリアリ、味ヒ甘ク色赤いシ、木ノ枝ニ刺有リ、花薄黄薄
萌黄也、

線索。福ヲ禱リ祭ルニ種々色アルイトヲヨリテ作り、小供ニ載スル
モノヲ、線索ト云フ、ニモモ

亂箭。敵ニ向ヒ、タテヨコ入レチカエ射梅針箭ヲ、亂箭ト云フ、

蠟梅花。幹低シテ、枝多ク花黄ナリ、蠟ニ同シ、マタ五ツノ花瓣ア
リ、

倒掛鳥。眼ノ珠白シ、嘴赤ク、尖マカリタリ、色ニモオ淺緑ニシテ略

青シ、脚ノサキニテ木ノ枝ニホリマワリメクル、夜ハ即チ
枝ニサカサマニサカルナリ、

象。身大クシテ目小シ、耳垂サカリテ、獠牙或ハ二ツ四ツ六ツナル

モノ同ナカフ、鼻長クシテ地ニ到レリ、サキニ肉ノモノハサミ

アリ、水ヤ草ヲ取テ口ニ送ナリ、膾ニモス四季ニヨツテ、四足ニ

有ルト云ヘリ、膾ヲ知ル處ナシ、

苗子。雀鷹等ノ物ヲ取ルニ、カシコキ小鳥ヲ木カケ鳥套ノ前ニ見エ

ル様ニ網ハリテ掛置ナリ、雀鷹來レハ小鳥先ニ知り恐レテ動

作ヲ、人々、見テ、カノ網ヲ引シメテ取ル、コレヲ苗子ト云
フ、

又。鉄ヲフタマタニ作り、木ノ柄ヲスケタルモノヲ、又ト云フ、戰
ヒニニモス用ユル器物ナリ、

佛鳥。頭嘴クヒ脊黒クシテ、身ノ毛米色鳴ク聲弥陀ト呼ニ同シ、因

佛鳥ト云フ、

曲麻菜。野ノ菜ナリ、家ニモ亦種ル、葉長ク根白シ味苦シ、生ニテ

喰テモ湯カキ喰テモ、皆ヨシ、根ヲ生ニテ塩梅イタクシ、喰フ
ナリ、至テ宜キ菜ナリ、ニモス

洗白。布ヨリ白シ、薄クナルヤウニ織タルモノヲ、洗白ト云フ、

蜈蚣。身稍ヒラタクシテ長ク、節ヒトツギアリテ生レリ、アタマニクニ

ツノ鬚アリ、脚多ク尾ニマタサシタル物ナリ、大小同シカラ
ス、人ヲサス也、ニモス

芍藥花。牡丹ニ同シ、草ノ莖アカク、白根ハシニ出テ一ムラノ、ニ

ハエルナリ、花ノ氣味好、又煮テ喰フナリ、ニモス

蓮花。水イ生スルナリ、莖直ニシテ、花ノ色紅キナリ、白キモノモ

アリ、氣味ヨシ、葉ハ丸ク大シ、花ト葉ノ莖、一ツノ、ニ異
也、實根ヲ喰テヨシ、

漆樹。性柔ニシテ、楸樹ニ同シ高サ二三丈ニ餘ル、……木ノ葉ニ

略同シ、花ニモス槐ノ花ニ似テ黄ナリ、漢中辺ノ山谷ニ生ス、此

木ヨリ漆出ル、ニモス

藕粉。蓮根ニ水ヲマゼ摺オロシ、水ヲシタメ、剩タル白粉ノ如キセ

ンヲ藕粉ト云フ、是ヲ白砂糖ニアワセ、滾湯ヲサシテ喝ルナ

珊瑚。海ニ生スル物ナリ、木ノ枝ニ同フシテ細シ、高低同シカラズ
色紅ク、黑白ナルモノモ有リ、凡カミ飾リニ用ユルナリ、
ニラ

彭城種美 譯編

轆轤。木ヲ車ノ輪ヲハムル木ノ如ク略長ニ作り、轆ケタルトリ……ツ
ケ、軸ハメ、釣桶ノ繩子ヲ繞轉 水ヲ抽モ……ヲ、轆
轤ト云、

蛤蜊。殼硬、二瓣ア……テ合ワセ開カル、也、大小種類トハズ多シ、

是ニ珍珠東珠ヲ生ス、肉ヲタベテヨシ、

用整樹檣箭。木ヲ根本ヨリ砍取、梢ノ邊ヲ敵ニ向、木ノ邊ヲ内ニヲ
キウケトムルヲ、用整樹檣箭ト云、是ニテ敵ヲ射レバツシ
クユキ、敵ノ射カケシ接針箭ハ、棒ナリ、

水熱湯住毛不下。殺シタル牲畜ヲ毛ハグニ滾 水熱スギテ、刮モ

抜モ毛サツバリト落ヌヲ、水熱湯住毛不下ト云、

踏塚。門ノ檻ニソエオキタル一方ヲ厚ク切りソロ……、一方ハ薄スク

ナシテ、車ノ輪……ウケナカス木ヲ、踏塚……云、

傢伙倉。家モトニテ常ニ用ユル、罈子、筥箭、
……撥、水杓、籠屨、整木槽盆、蘆席、繩子等ノ物ヲ貯エオク所
ヲ、傢伙倉ト云、

駝鷄。南海赤道ノ南ニ出ル、甚大クシテ六尺アリ、高ク飛ヲ得ズ

、五彩ノ毛備ハヘタリ、

天平。金銀ノ兩數ヲ多クシテ戩子ニ容キラザレバ……用ユル也、桿

子ノ兩方ニ黃銅ノサラヲサケテツリ、桿子ノ中ホドヲ架ニ

アルニツノ鍼ノ尖合タルヲ見テ定ムル、
三楞鍼。ミ、ノアナヲ作りサキノ方ヲ三ツニカトグツヨウニナシ、
スリ皮アラ皮等ノ硬品ヲ縫モノヲ、三楞鍼ト云、

皇上。イタツテ貴クシテ諸人朝覲スルヲ、皇上ト云、

卓。四方ニ邊框、中ニ木板、下ニ四ツ足ヲツケ作りタルモノヲ卓……

……
饗應ニサシグスモノヲ亦卓ト云

發麵。コ子タル粉ニ離ニテモ酒……ニテモマゼ合ワセ、アタ、カナル

所ニ置イテムシフクラカスヲ發麵ト云、

沒體面。恥カシウシテ……カタキ人ヲ沒體面ト云、

鈕子。金銀等ノ物ヲ以テ鈕鼻ツケ、環ヲ作り、衣服ヲ繕口ヒテ、勾

樣ナルモノ、作りタルモノヲ、鈕磨ト云、

桃。木ニ生果ノ名、カタチマルク、尖ノ方男……テトガリタルナ
リ、タグヒ甚大キモノ小キモノトモニアリ、味イハ甘酸同カ
ラズ、花紅キナリ、

孔雀。鷓鴣、野鴨ニ畧同シ。體大シ、毛緑リナリ、尾長クシテサキニ五彩ニ耀、色ノマルキ眼アリ、

記念。豆ノ如キキリ。シタル珊瑚ナトノ小キ数珠子ヲ一串ニテラツ

、穿。珠数ノカタニアメル。上ニ一方ニ、又ハ一方ニ一串ヲ垂タルモノヲ、記念ト云、

玉頂。馬等ノ牲口ニ額ノナカホトニ畧マルク白キ毛アルモノヲ、玉頂ト云、

打狐狸的套子。長サ二尺ニ餘ル、口ノ。二尺ニ餘ル、底暗狐ノ穴

ニカムセテシカケ、別ノ所ヲ窟窿アケ烟ヲ燻テ、出ル狐ヲ。トルモノヲ打狐的套子ト云、

夜天壺。日天壺ノ第二アルモノヲ夜天壺ト云、カタチ日天壺ニ同シウシテ、潤一寸減ス、此ノ内ノ水、平水壺ニ滴ル

一之下卷

穎川春重 譯編

儀器。天ノ象ヲ測リ、氣數。ヲ觀、遠近高底ヲ察スルニ、用ユル器

物ノ総名、種々多シ、用ヒ至テ大ヒ也、

唐鼠。貌鼠ニ畧同クシテ畧長ク、淡黒、肚ノ傍ニ腸ノ如キ、

肉生タリ、

砂魚。鱗無シ、口小ク、身ハ手掌ノ。扁ク生セリ、半尺計ノ有リ、

皮至テ粗シ、箭竹ヲ。ガクニ用ユル也、

黏杆子。鳥雀ヲ黏テ取。物。名、總テ五節接テ用ユル也、尖ノ邊ニ細。藤ヲ接、鏝黏ヲヌリツケ。雀ヲサシテ取ル也、

白超。鷹ニ畧同シテ小シ、尾ノ本白、愚ニシテ藝ナシ、

土鴛鴦。鴛鴦ニ相似タリ、色畧黃也、

大頭釘。身黒ク頭大シ、鱗有リ、

熊。總。毛色青、口尖、脚ノ底人ノ脚底ニ同シ、

駝疾走。駝快走ヲ、駝疾走ト云、

扁條。磨刀石ニ體テ、作りシムシクワシテ、扁條ト云、

菘豆。小豆ノ類、高粱米ヨリ畧大ク、色緑也、

陷泥。地泥深シテ行レヌ處ヲ、陷泥ト云、

昏迷。繁ク亂タル事ニ、迷知識無クナル。昏迷ト云、

腰刀。鐵ヲキタヒテ双刀背ヲクテ、刀鞘ニ挿佩タル者ヲ、腰刀ト云、

、守リ戰ニ身ヲ防グニ用ユル器物也、

甚饑。ヨシアシヲカモワズ、多分ニシテ飲食スル人ヲ、甚饑ト云、

甚饑ハ鬼ニ比タル者也、

垂楊柳。枝葉卑垂テ生スル也、

垂絲海棠。櫻桃樹ニ海棠ノ木ヲ接、花ノ枝細長クシテ、櫻桃ニ同ク卑垂テ花サク也、

穎川道香 譯編

浮傷。鐵炮、矢、石、鎗、等ノ物具ニ中リ、ホゲズシテ、青傷、紅

腫ハダニナリシ 所ヲ、浮傷ト云、一九〇

荔枝。此木高クノヒ、大サ人互ニ抱キ廻ス程……實ノ殼略圓クシテ

皺タル如シ、ミゴエテ其時水汁多シ、味甘シテ香シ、一七〇

海市蜃樓。海ヨリ升ル氣ノ内ニ、城廓樓臺人、種々ノ形チニ似テ見

ユルモノヲ、海市蜃樓ト云、一七〇

海魚。種類甚多クシテ、國處ニテ名付ルモノ……カラ、満州ニテ名
ノアルモノヲ書キオクナリ、一七〇

豆腐皮。豆腐ノ凝前ニ獸乳ヲ煮テ浮タル皮ノ如キモノヲ取テ、一枚

ツツニナシタルモノヲ、豆腐皮ト云、

馬上凱歌。軍功ヲ遂シ將軍大臣等ヲ、迎フニ用ユ、樂人馬ニ騎リ、

附テ奉……ルナリ、一章アリ、一七〇

楓樹。實薄黃、葉五ツニ尖トガリナルモノ モアリ、三ツニ尖トガリナルモノ モアリ、此實

ヲ茶ニ煮テ飲ム、木ニコグチ密也、車ノ輞シキヤ 作ル、此木ノ節

立チタル根ヲ以テ、椀ヤシリタルモノナリ 鍱ヤシリタルモノナリ、花アリ、一七三

猴。色黃香色、尾短シ、腹ノ肉ニ脾ナシ、食シタルモノヲ趨ハセマツリ 消

化ス、稟性箭翎ナラズ騷シ、

龍。鱗アルモノノ内第一ナルモノ、鹿ノ角、牛ノ耳、駝ノ頭、眼圓

ク、蛇ノ項、蟹ノ腹、魚ノ鱗、虎ノ掌、鷹ノ爪、南ニ顯レ、

北ニ潜ミ、隱カクレルモノナリ 能シ、露アワクレルモノナリ 能シ、トモ大ナルヲ能シ、小

ナルヲ能シ、長クナルヲ能シ、短クナルヲ能ス、變化ス
ルヲ窮リナシ、

龍眼。此木荔枝ノ木ニ同ウシテヒキク小シ、春……季スニナリ、小キ白花

開ク、實ニ堅キ殼アリ、丸ヲ堆ガ如シ、味甘シ、秋ニナリテ

實生ルナリ、一七四

平水壺。日天壺ノ第三ニ有ルモノヲ、平水壺ト云、形チ日天壺ニ同

ウシテ潤ツツ二寸減ズ、此内萬水壺ニシタゲル、背ウシ方ノクチ近

ク別ニ穴ヲ作り、水多クナリシ時、穴ヨリ分水壺ニ流ツレシタ

ゲル水ヲ平均ニ……、一七五

穎川雅範 譯編

察哈爾八旗。察哈爾蒙古人、太宗文皇帝ノ時ニ降り入り、崇徳元年

ニ、旗分佐領ヲ編アミ、八旗ニアワセアリ、京城ヲ定メ、盛京ヨ

リ遷リ来シ時、此輩ヲ邊外關山ノウシロノアタリニ……

……一七五彼ノ處ノ察哈爾蒙古人ニアワ……、八旗ヲアミ、旗分ヲ……

……、處ヲ分チオラシム、旗コトニヒトリツ、ノ統領ヲオキ、
印綬ヲアタヘツカサドラシム、今都統、副都統ヲオキ、スベ
ツカサドラシム。

井田。古ニ野ヲシキリテ、メグリ一里ヲ井トナセリ、井九百畝、此

ナカナルモノヲ、公田トナシ、八……トモニ身マエ百畝ツ

、田ヲ取り、一同公田ヲツクル、公事終シトキ、ヤフヤク私
事ヲナス、コレヲ井田ト云。

拉雀網。長サ十ヒロニ余リ、目ホソク、ナカヤク、ミテカギニク、

リ、両方ニ手ヲツケテフセオキ、小キサ、ヘ木ニテサ、ヘ、

サキニ長キハリカ子ヲク、リ、小鳥オリシ時、ハリカ子ヲ……
キ、一七五網ヲヨセテカクルモノヲ、拉雀網ト云。一七五

鷄。畜カイモノ名、頭ニカプト、足ニケツメアリ、イロトリアリ、雄ハ

ヨアケニナク也。

竹珠。竹ニ生ス、形チ東珠ニ同ク、甚マルクナクシテ色クロシ。

△*

世管佐領。ハシメ基ヲ開シトキ、一處ノ衆人ヲ會合シ、一同降り来

シ衆男人ヲアミ、頭ノ人ノ衆子衆孫ニ、長遠追襲セシムルモノヲ、世管佐領ト云。

船。木ヲマトフテ、首尾ヲツケテ造リ、ナカニハシラヲ立、江河ニ行クモノヲ、船ト云。

一十九*

麝香木。江南ノ地ノ山谷ニ生ス、コノ根ヲ取り焚ケバ、氣味清ク香シ。

薔薇花。ヒトムレツ、ニツ、キテ生ス、蔓綠色、刺多シ、花瓣ヒト

エニシテ、イロドリアリ、白キモノハイヨイヨ香シ。

彭城雅美 譯編

白肚鱒魚。腰ノアタリ、墨色シテ紅シ、腹ノホトリニ白ク、鱗細

ク、口ニニテ齒アリ、甚清寒ナル水ニ生ス、甚ヨキ味アリ、大ナルモノハ一尋ニ餘ル也、

被。凡絹ノ類ノ物ヲ、表裏ヲ合セテ、綿花ヲイレテ、領子ヲツケ拵

エ、身ニ蓋モノヲ、被ト云、

卦。宓熈皇ノ下ヨリ、ウエサマニ横タエテ、三爻ヲ畫、萬物ノ形ヲ

象體テ、人ニ吉凶ノ象ヲ見セシムル者ヲ、卦ト云、三爻ヲ重テ

六爻ニシタル者ヲ、亦卦ト云、

柚子。性酸シ、橙子ニ同クシテ、皮厚シ、一尺ニ大サナル者アリ、

一ニニ*

指揮。城外ノ盜賊、錢戲爭打等ノ一ヲ掌 役人ヲ、指揮ト云フ、

ニ*

醜鬼。醜鬼ニ類 又容チミニクキ人ヲキロフテ云時ニ、怪物：

同シト云フ、

冰糖。甘蔗 ヲテ糖トシテ、トリタル汁ヲ、タイテ氷ノ如ク結成

冰糖ト云フ、

街道廳。工部ヨリ出、京城ノ内外街道ヲ、撫治ムル事ヲ承リ

ヲ街道廳ト云フ、

雙機弩。ニツノ夾子支棍 勾努弓ヲ、雙機

肉瓢。西瓜ノ肉ウマク弱 シテ散落ニナキ物ヲ肉瓢ト云

江米。粳米ニ同フシテ飯ニ蒸シ菓子ヲ作レハ子バルニヨリ名ツケタ

リ

鉅鹿篤義 譯編

花啄木。ウルワシキ山啄木ヲ、花啄木ト云フ、

蛋黄。卵ノ内黄ナルモノヲ、蛋黄ト云フ、

狗頭鷗。諸鳥ヨリ大シ、頭白ク體ハ灰色、羽翅ヲ以、被箭梅針箭ヲ

ハグニ用ユル也、

城壕口。城ノ上ニ見隠ニシテ、口 アケテ、砌タル堀ヲ城壕口ト云

フ、又兵營ニロアケテ子リタテタル堀ヲモ亦、壕口ト云フ、

一ニ六*

漏壺。水ヲ滴タラセ箭ヲ浮シ、時刻ヲ見モノヲ、漏壺ト云フ、

五壺各名有リ、段々ニオケリ、第一壺ニ入タル水滴タリ傳々

ニ第四壺ニ至タリ、内ニ立テオキタル時刻ノ箭、水ノ滿ツルニツイテ次第ニ出テムキアイタル時刻ヲ指ス也、二二六

吹筒。一丈ニイタル長サノ筒ヨリ、土ノ丸ヲ吹テ、小鳥ヲカクルモノヲ、吹筒ト云。

領衣。女ノカタアテニ同クシテ、小ク短クナシテツクリ、エリマキヲハメタルモノヲ、領衣ト云。二二七

硃卷。考シラニシテ生シラニシテ、原本ヲテシタ、シテ、硃筆ニテ清書シ、考試官ニ見セル卷ヲ硃卷ト云。二二七

骨血糟。凡骨ノ肉ホゲトヲリテ血ノ交シリタル所ヲ、骨血糟ト云、蝴蝶。體大小同シカラズ、色モ種々ニ有リ、羽大クシテ少シ圓ロシ

、花樹ニマワリテ飛フ也、トマルニ羽ヲ上ニ合セルナリ、二二八

癭高。馬ノ上アギ腫タルヲ、癭高ト云フ、二二九

螻螂。脰高ク、體長ク、肚大シ、羽有リ、前足ハ鉤ニ同シ、他ノ

虫ヲ拿トリテ食ス、二三〇

旨。君方萬事ヲ理ハカワセラル、ニ下シ玉ヒシ詞ヲ、旨ト云フ、二三一

苧籬。柳ナギサ條チリ竹チリ篋チリ子チリヲ、……ノカタチニ織オリ作り、煮クイ飯イクルシ洵トイタル

苧籬ト云フ、二三二

海參。長サ一扎一尺余ルナリ、色淡黒、體ニ鼠ノ乳玉ノ如ク滿アツツキ、

……刺。鮎魚ハ、チシニ畧シテ同シシテ小シ、黄イロウルワシク有リ、後分水腰アヒレニ

魚刺有リ、二三三

絲麻。莖クキ綠色……大クシテ畧圓、皮ヲ剥ヒキ纒ヒキヲ……

鳳仙花。葉窄ヒョウシテ長シ、花二種々ノ色有リ、紅キナルモノヲ、指

甲ニ染ルナリ、二三四

蘆塚恒徳 譯編

教場。歩射騎射ヲ習ハス處ヲ教場ト云、

劈柴。丸キ木……打チ割リ小塊ナシ……二三五木ヲ、劈柴ト云

早。雨潤乏キ年ヲ、早ト云二三六

香盒。細コガニ裁割キリタル香ヲ盛……二ツ合アハセノ小キ入レ物ヲ、香盒ト云二三七

四

虎皮石。礮石カヤクヲ砌キタテニ用フルサマ、色アル粗石ヲ虎皮石ト云二三八

貳封。身ニ得ウケベキ封表ヲ情コト甘アマンシ祖父祖母父母ノモノニシテ封スル

ヲ、貳封ト云二三九

紅櫻。菓クワモノノ名、木ニ生リ色紅ク仁扁ヒタメニ味ヒ酸シ三四〇

彭城昌宣 譯編

火茸。朽チタル木ニ生スル、色ハ水紅ニシテ、火ヲ打ツニ用ユ、又

菖蒲ノ穂ホ、艾ノ葉ヲ、……ニ……灌シシ、火ヲ打ツモノ……、火

茸シト云三四一

棧道。險山ノ行カレヌ處ニ木ヲ支テ、作りタル路ヲ、棧道ト云。

檜欄。此木イタツテ高大ナリ、幾ク抱アハレホド有テ直ナリ、實ハ、菓ノ

如キホドニシテ、兩端尖トク、ナマヲ嚼メハ、味ヒ、酸スルシテ渋シ

、シバラクシテ清ク香バシクナルナリ。三四二

琵琶。ヒクトコロヒロフシテ零圓ク、尖ノ方握シ程……ホソマリ……
四……ニ弦ヲカケ、彈スルモノヲ、琵琶ト云。

山啄木。載……ニ同フシテ、カヘリ毛……、木ヲツイハミ……虫ヲ
サグリテ喰フ、黒ナルモノ、緑ナルモノ、種種ナル色ノモノ
有。

瓢。フクベヲ……ニ両タワレニナシ、凡テ物ヲ盛ニ、用ユルモノヲ、
瓢ト云。……

李子。木ニナル果ノ名、杏ニ同……、アカキモノ有リ、黄ナルモノ有
リ、味ヒ酸クシテ甘シ、花ハスコシ黄ニ……白シ。

稽俸。八旗ニテ滿州、蒙古、漢ノ、軍卒、漢ニテ官人ノ俸禄ノ銀
米、兵丁ノ錢糧ヲ、……事……承ハリ査アル處ヲ、稽
俸ト云

俸餉處。旗下ノ官、兵丁ノ、俸禄錢糧ヲ、計リ、人別ヲ査ベ、女子
ヲ選ム等ノ事ヲ承ハリトリハカラフ處ヲ、俸餉處ト云。……

硃砂。色……藥……調合スルニ用ユ、カタマリタルモノヲ以、盃ナ
トラ細器ニ作ラレルナリ。……

二輯上

嚮於庚戌之秋奉
旨肄習清學者二十餘人等身任協理

校正之鼓勵之去歲甫得脱稿復又接
踵勉勵之及今臆清而檢閱所譯訓誌

崎邑俚言尚多皆因學生自幼熟讀土……

語逐浪隨波因循不悛職此之由今欲
遵照國譯刪正恐難急切變更故除請
陋已甚者外姑且存留焉蓋和漢滿洲
風俗各自殊異則不獨樹藝禽獸鱗介
至於田賦室家器仗等類所需不同名
稱亦不能無所差別祇緣偏取于一部
清文鑑外並無彼地書籍勸取且首
務本等漢譯而旁習兼修不能獨專其
力於一歎所以然也但陶鎔之以漢字
音韻伏鑊之以 本邦訓解較之清人
學滿字反覺便捷而經與緯可併而得
矣然而滿人終難一面訊研詰今也以書
辦事則可謂思之過半矣謹以序
嘉永壬子仲秋日

馮璞

清學參贊鄭昌全謹識

陳勛

- 石崎 次郎太 親之
- 官梅 源八郎 盛芳
- 游龍 彦三郎 俊之
- 彭城 助次郎 種美
- 穎川 保三郎 重春
- 鉅鹿 太 篤義
- 神代 時次 定光
- 彭城 大次郎 昌宣
- 鄭 右十郎 永寧

彭城 定三 廣林
高尾 宗三 延之
蔡 恒次郎 正邦
蘆塚 五郎助 恒徳
補闕 衆學生
官梅盛芳 譯編

鱈魚。口長ク尖リ鱗ナク、腰ノ行旁ノ處ニ三行ニ粘テ骨生シタリ、皮厚ク身ニ刺骨ナク、脆骨而已ナリ、大ナル者ハ一丈餘リ有り、
瀝青。松ノ液ヲ煎作リタル者ナリ、冲決タル鐵挺石等ノ器ヲ著テ粘貼トキ用フルナリ、

水虎。老人ノ説ルマヲ聽ケハ、此魚ノ脊刺很敏捷シテ研亮タル鐵；同眼ハ輝房魚錯テ這ガ患ラ喫バ、結鬻房魚ヲ斷斷ニ劃開殺スナリ、

自鳴鐘。時刻ヲ看ル器、時ニ隨ツテ自然ニ鳴ルモノヲ自鳴鐘ト云、
松花碌。色緑ニシテ、斑紋有リ蓋クトキ用フルナリ、
牛。犁杖ヲ拉車ヲ套スルトキ用フル性口ノ名、頭ニ角有リ口ノ上ノ牙床ニ齒ナク蹄ニツニ支離タリ、

亮橋。房頂ナク椅子ノ畧、同作り人撞行クモノヲ、亮橋ト云、
柱香。速香沈香等ノ香氣アル木ヲ以テ筋ヨリ畧、粗作り立テ供獻ス

ルモノヲ、柱香ト云、

瑠璃數珠。瑠璃ヲ穿腔項ニ戴ル物ヲ、瑠璃數珠ト云、
肚帶。鞍ヲ備肚ノ下ヲ帶シテ固メ緊モノヲ、肚帶ト云、
整木槽盆。圓圖木ヲ有把槽盆ヨリ畧小ク、桶子臙ナク畧圓ク捺テ作リタル者ヲ、整木槽盆ト云、

烏賊船。戰船ノ名、船ノ兩旁ノ肋ノ處ノ黒ク為ヤウニ油ヲヒキタリ、
灰條菜。野ニタツ菜ナリ、幹銀紅葉圓シ、焯テ喫、又一種ノ高；長ルモノ有り、

衆學生 同譯

地平經緯儀。地平經儀ニ上ニ、象限儀ヲ立テ置キ、合セ測ルニ用フル者ヲ、地平經緯儀ト云フ、
ヲ跨置キ、中ホドニ四尺計リ心ヲ破タル柱ヲ立テ、柱ノ頂ヨリ三ツノ線ヲ吊、横表ノ中ト兩端ニ拴、凡國土ノムキ星宿ヲ測ル時、此三ツノ線ニテ參直指シ、圓ニ刻タル畫ヲ觀テ度ヲ定ムルナリ、

雲連紙。竹ヲ碾、水ニ浸シ漉キ作タル甚薄シテ稍固紙ヲ、雲連紙ト云フ、刻ニ書クトキ用フル也、

田洞鷄。福建ノ地ニ出ルナリ、頭ハ黃、脊ハ黒シ、體ノ毛ノ旋黃、

腿ハネ高ク、魚蝦イナシヲ喰クフナリ、一五三

水喜鵲。嘴ハ長フシテ黒ク、頭ハ白ク、尾短ク、腿ハネ高ク、沙アル

洲シラニ下リテ魚ヲ喰クフニ回リ、水喜鵲ト云フ、一五三

安春香。山峯ニ生ス、葉ハ柳ノ葉ノ同シテ小ク、味好祭ルトキ焚クナリ、

青草。凡様々ノ緑草キナヲ、皆青草ト云フ、

茵陳。春ニナリテ、根ヨリ芽立テナ生スル黄蒿ヨモギヲ、茵陳ト云フ、一五

ミラ味香ハシク、藥ニ用フルナリ、

金絲草。草木ニ蔓マキテ蔓生スルナリ、葉ハ圓マルク、凡ノ瘡膿傷カサケニ貼テル、

一五四

泥傍小路。水有ル陥泥地ドロ處トヲ、避サテ旋路マヘルヲ、泥傍小路ト云フ、

研碎。凡ノ物ヲ爛ミシニナルヤウニ碎カスヲ、研碎ト云フ、一五四

水葱。水ニ生ス、内ハ虛ウツロ、葱ネギニ同クシテ高ク、尖サキニ些スコシノ穂ヘイズルナリ、

堆木塚。草木ノ等ナドノ物ヲ、一ノ處ニ倒テ堆テ碯ウツヲ、堆木塚ト云フ、

良醞署。諸祭宴ニ用フル酒サケ、奶子酒ナギ、奶子ナギ、油等ノ類トヲ、備トノヘテ辨ハ

處ヲヲ、良醞署ト云フ、一五五

青鴉。嘴ハシ尾ハ黒クシテ、體ハ銀紅青ノ烏鴉カラスヲ、青鴉ト云フ、一

五

高尾延之 譯編

烏鴉。嘴クビ粗コ、體純青アツクナリ。一五六

赤包子。蔓生へ、小キ；ノ同、生トキ色緑アツク、熟色至テ赤ク軟ヤワ

脆コウナリ。一五六

芡實。水ニ生ス、容鷄ノ頭ニ同シ、内ノ實ハ榛子クサノ如キ大フト、剖ワ

喰フ。一五七

蓆シ。蘆アシヲ圓ク成ルヤウニ縫ミタテ、穀物ナドヲ、盛イル者ヲ、蓆シト云フ。

井中紅絲蟲。井戸ノ内ノ水ニ在リ、小クシテ紅シ、油ヒキタル蓆イ

箕ノヲ繩ノニ拴ツ、石磚イシヲ墜サ、井戸ニ放イ、久クシテ取レバ、

此蟲カ筐ゴ子コ、繩ノニ粘来ルナリ、疱疹出ルトキ斷然カ通ツ者ニ此蟲

ヲ釀カ、冷水ニ攪カ飲ク。

刷帚。高粱草コノ穂ヘヲ捆カ、瓦盆ハ、鍋ナベ等ノ器ノ内ヲ刷ハ、洗淨ハ者

ヲ、刷帚ト云フ、馬蘭草ノ根ニテ作りタル者モアリ。

寒漿草。一撰ヒト撰ヒトニ生ハ、幹ノ、蔓葉ハ柳ノ葉ヨリ短シ、此レ、淹シ

喰フナリ。一五八

荊條筐。荊條等ニ物ヲ疎織補筐子カノ同ト作り、菜蔬物ナドヲ盛イル、者

ヲ、荊條筐ト云フ。

柿餅。柿子ノ皮ヲ削刻カ、日ニ晒カ、燥カ、缸カニ摺カ、麵コ如キ白キ粉

出レバ、畧ス扁ヒラナルヤウニ壓カ、一筒一筒ニ重穿ツ繩ヲ、乾

山槐。皮黒ク、葉畧圓、肉赤クシテ花。

軟鞆。布ヲ摺造、鞆ヲ設、馬匹ノ尾ノ根ニ、勾者ヲ、軟鞆ト云フ、野ガケニ行クニ用フルナリ、

盒子燈。冠ヲ盛、盒ノ同シテ大ク作り、内ニ紙ノ人形、馬、又ハ

葡萄架、燈籠、文字、等ノ様々ノ物ヲ盛、架子ニ掛ケ、信索

ニ點火底脱開バ、續段々ニ様々ノ形チ下ニ下来テ、形チノ

内ニ自然ト亮燈、曬、花筒四方ニ綻者ヲ、盒子燈ト云

フ。

監造花爆處。營造司ノ様々ノ盒子燈、爆燗、花筒、等ノ類ヒヲ

督造處ヲ、監造花爆處ト云フ。

葫蘆。色淡白、長成ザルモノヲ煎テ喰フ、壓乾モ喰フ、類ヒ甚タ

廣、把子長キモノ有ル、兩端大ク中細キモノモ有リ。

瓠子。貌チ冬瓜ニ同キヤウニ細シテ長シ、色水緑、調理シテ喰フナ

リ。

武英殿修書處。御製ノ書類ノ書ヲ、刻、スリタテ、釘、套、等ノ

事ヲ督辦處ヲ、武英殿ニテ修書處ト云フ。

盒子。薄板ヲ或ハ圓ク、或ハ畧長、四角ナル者ニ蓋、底ヲ合セテ

作り、何ソ物ヲ盛者ヲ、盒子ト云フ、

槐。楡ニ同ヤウニシテ、葉華ク、實角タチテ生、花ヲ以テ黄

染ニ用フ、又花ヤ實ヲ藥ニモ用フルナリ。

彭城昌宣 譯編

交界。兩疆ノ端合タル處ヲ、交界ト云フ。

管轄番後處。内裏ノ佐領ガ諸ノ法令ヲ犯シ、盜賊ヲ查捕等ノ

事ヲ督トリ辦處ヲ、管轄番後處ト云フ。

黃鸝。家雀ヨリ少シ大シ、脊背ハ褐色、心坎ハ黄色、夏ニ入テ來ル

ナリ。

芋頭。鷄卵ノ如キ大、殼ノ色牙色、調理シテ喰ヘバ、黏有テ麵

々ナリ。

弔肚。牲口ノ脇肚ニ攪小キ肚帶ヲ、弔肚ト云フ。

墨卷。孝生ノ書キタル原ノ卷ヲ、墨卷ト云フ。

墨海。圓ニ溝ヲ決テ作りタル圓キ大碗ヲ、墨海ト云フ。

弓。箭射ニ用フル軍器ノ名。

釣魚食。凡ノ魚ヲ釣寸用フル餌ヲ、皆釣魚食ト云フ。

花斑。嘴長フシテ大ク、眼眶ノ上ニ一條ノ白毛有リ、體ノ毛黒、白

交雜テ華爛ナルニ因リ、花斑ト云フ。

柳條邊。凡ノ疆ノ處ニ木ヲ以テ柵ユフテ邊取タル者ヲ柳條邊ト云

河。營ヲ修造シ、防守等ノ事ヲ督トル同知・通判等ノ坐、

稟性ニテ、一處ニ樓ムナリ、

白花雀。家雀ヨリ稍大シ、頭黒ク脰^{ズビ}：白ワアリ、脊ノ羽微黒ク黄ニ

シテ白華アリ、^{一三四}

光祿寺。一切祭祠ニ用フル酒麴等ノ物、筵宴ニ需用肉穀^{サカタナクモ} 菓^{クワ}等ノ

物ヲ、預備辨理^{一三四}衙門ヲ、光祿寺ト云、

靈芝。瑞草ノ名、幹ノ尖ニ^{ミキ} 彩^{イロドリククルクモノカサ} 雲頭有リ土ノ氣甚タ和スレバ、此

草生スルナリ、赤キモノハ珊瑚ノ如ク、白キモノハ賺^{ケモノ、ハラノカ} 貼^テ

油^{タマリヲ}ノ如ク、青モノハ漆ノ如ク、藍モノハ翠雲ノ如ク、黄

ナルモノハ金ノ如シ、^{キョウジカ} 美^イ 形ニ生テ光潤ナリ、^{一三五}

蔡 正邦 譯編

榛子哨拔箭。箭ノ鉄挺處ヲ、榛子ノ同稍大^{ゴトク} 打^{アツク} 三ツ圓キ眼ヲ刻^{キリテ}、

造リタル者ヲ、榛子哨拔箭ト云フ、^{一三七}

桶子。圓圖木ヲ^{クリメイテ} 掾^{サケエ} 作リタル、水桶ノ同シテ^{ゴトク} 標^{サケエ} 無キモノヲ、桶

子ト云フ、大小同シカラズ、何ソ物ヲ盛^{イル} ナリ、^{一三八}

幼官學。特^ト 恩^{ノケミ} ヲ給ヒ、先錄毎ニ公房ヲ賜リ、年紀到去未世^{ヤシクサ} 襲官

等ニ滿洲語武藝ヲ教ユル處ヲ、幼官學ト云フ、

奇兵。勇^{ユウ} 殺^コ 進^{シン}、尾ヲ抄^{ウシロテ}、忽然間^{フツヒニ} 劫^{ニキ}、伏居テ攻等ノ兵

ヲ奇兵ト云フ、

隠士。徳ヲ懷^{イキ}、山林ニ居リ、用ヒラレサル者ヲ、隠士ト云フ、^{一三八}

秋香色。綠色ニ^{アホ} 黄^{スロシキナイ} 香^{アメリ} 色雜タルヲ、秋香色ト云フ、

猿ノ同類、毛ノ色 黄^{スロシキナク} 香^{アメリ}、赤フシテ至テ長シ、

鵝鶩。體黒ク嘴^{ハシ} 鈎^{アカリ} テ鳥鴉ヨリ大^{カラス}、魚ヲ捉ルナリ、^{一三九}

斧子。木ヲ砍ル器ノ名、榘^フ 二把柄ヲ安^ユ、一方ニ刃ヲ出^{イダ}、一方ヲ齊^{ワツキ}

截^リ 成シ、木等ノ物ヲ砍リ、何ソ捶^チ 打ニモ用フルナリ、

斧鉞司。凡金銀ノ器等ノ物ヲ^{オイレレテオシラユ} 修^ス 造^ス、収メ貯フル事ヲ主トル處ヲ

、斧鉞司ト云フ、^{一四〇}

麻絮。黑麻皮^{アサ} 苧^{アサ} 麻ノ碎タル者ヲ木郎頭ニテ打^キ、衣^{モノ} 二鋪^ル、モノヲ、麻

絮ト云フ、

煤炸。金銀ニテ打タル凡ノ物ヲ、煎シタル烏梅水ニテ煮^ク、磨^ミ 藥ヲ

抹^{メリ}、黄銅^{シシ}ノ葉子ニ載セ、火ニ烤^{ヤク} テ色ヲ出スヲ、煤炸ト云

フ、

沙船。戰船ノ名、船底平クシテ迎^{ムカフ} 浪ヲ^{ノリアガリ} 壓^ス 行カル、ナリ、^{一四一}

ナリ、

白喜鵲。喜鵲ノ如キ大ニシテ尾^ビ：少シ短ク、體ニ^チ 灰^{イロ} 白色雜タル

ナリ、

淺水不乾處。處處ヨリ水出テ、淺クシテ乾ザル水ヲ、淺水不乾處ト

云フ、^{一四二}

捨。報ヲ算ズ、只是^{イハレモテ} 給ヲ捨ト云フ、凡廟ヲ營^{イトナシ}、街道ノ修ニ貨

財ヲ給^{アゲ}、僧道士乞丐ニ何ソ物ヲ給^{アゲ}、又街道ニ水茶ヲ備ヘラキ

事ヲ 辦 衙門ヲ、河驛ト云フ、此ヨリ以下衆官ノ坐、事ヲ

辦 衙門ヲ、皆此ノ通りニ各自ノ官ヲ指シテ衙門ヲ名ツケタリ。 一三五ウ

鞭。軍器ノ名、鐵・黃銅ヲ折打テ、木鞭ノ同、竹ヲ體、駢、

把子ニ護手・項束ヲ設テ造タル者ヲ、鞭ト云フ。

月季花。幹・葉ニ皆刺有リ、花ノ色紅・白・淺紅ノ三種有リ、

月コトニ開ナリ。

月食。月、日ニ對、地ノ影ニ逢フテ覆ケルヲ、月食ト云フ。 一三二

六ウ

野葡萄。葉、藤、花全葡萄ニ同ヤウニシテ只實小ク、藤細長ク、

木ヤ峻巖、峯ニ盤懸リタル貌、實ニ可觀ナリ。

塞燕。邊外ノ寒處ニ飛フナリ、紫燕ノ同シテ至テ大シ。 一三三キ

方畧館。凡叛逆セシ部落ヲ平定ムレバ、一ニモ將軍ヲ出シ、兵ヲ調

遣處ヲ、方畧館ト云フ。

大國ノ威光ヲ宣、聖主ノ德ヲ敷玉ヘル謀計ヲ記テ、書ヲ

相地歐獸。獸ノ出可キ處ニ、人ヲ打開立セ、平地樹林・山後密林ノ

内ヲ、別ノ人聲出、作響追ヒカケテ獸ヲ人ノ立タル處ヨリ

出テ、相地歐獸ト云フ。 一三八キ

秋牡丹。草ノ幹地ニ舖…花ハ紫ニ菊花ノ同、花心ハ黃ナリ、葉ハ

牡丹ノ葉ヨリ畧小シ。

猿。猴ヨリ大ク、白・黒・黃・赤・様々ノ色有リ、同シカラズ、手

長ク、下上ノ善ナリ、群リテ山林ニ棲、聲至テ長、叫啼

聲至テ可傷ナリ。 一三九ウ

頴川重春 譯編

羨慕。凡物ヲ勝ヌホド望ミ想フヲ羨慕ト云、一三九ウ

喇叭。黃銅ニテ打タル、吹ク方細、下嘴、聲高キモノヲ、喇叭

ト云、

兜。牡牛ニ畧同ク、前體高ク、後體下結、頭黒キ紅牛ノ色シテ、牛

ヨリ大シ、一三九キ

盤燕。秋季ニ山樹ノ孔、海洲ノ…邊所ニ、盤入り、毛ヲ換燕ヲ、

盤燕ト云、一三九ウ

行動輕佻。行走動作、輕小、常ニナキ形相、

嘴快狀。口快、撈着言フ貌、

大篋籠。小篋籠ヨリ大キモノヲ、大篋籠ト云、一三九キ

小物連墜聲。碎小物ノ只管落ル響ナリ、

粗疎。懶惰ニシテ、粗糲動作ヲ、粗疎ト云、一三九ウ

鐵頭。土ヲ削トキ用フル、鏝子ニ畧同キ鐵器ヲ、一三九キ鐵頭ト云、

弔鍋支棍。掛鍋ヲ、鉤支二本ノ木ヲ、弔鍋支棍ト云、一三九キ

瑞紅鳥。嘴紅シテ寬堅シ、體微青シテ灰色、雌雄雙連ノ同

、人ニ飲マスル等ノ類ヲ皆捨ト云フ、

肉叉子。鉄ヲ二枝、稍ノ方ヲ尖造リ、肉ヲ燒炙ニ用フル者ヲ、肉叉子ト云フ、一四二ナ

草園。草ヲ摺テ器造リ、米穀等ノ物ヲ盛、モノヲ草園ニ云フ、

筐子。竹荊條等ノ物ヲ織テ、小盆ノ同作り、何ソ物ヲ盛者ヲ、筐子ト云フ、

刮鏢。様々ノ魚ノ腐ヲ、熬塊造リ、刮用フル者ヲ、刮鏢ト云フ、一四二ナ

馬不把滑。馬匹滑處ヲ行クトキ踉蹌ヲ、馬不把滑ト云フ、

鏢子。様子ニテ鑄テ、大鏢子ヨリ小、金銀ヲ、鏢子ト云フ、輕重同カラス、一四二ナ

剃刀丁。剃刀ニ横ニ挿シタル鉄ヲ、剃刀丁ト云フ、

間走。人事ナクシテ、處々ニ遊ニ行善ヲ、間走ト云フ、一四二ナ 文穎館。我國ノ、諸文人ノ作りタル、詩・詞・歌・賦・文章・等ノ類ヲ記シテ、書ヲ編作ル處ヲ、文穎館ト云フ、一四三ナ

認得。凡ノ物ヲ知りテ、辨看ヲ、認得ト云フ、一四四ナ

通政使司。四隸諸省ヨリ、送來タル奏本ヲ、合看・封シ・覽ニ進

ムル爲メ、内閣ニ送等ノ事ヲ、督・辨・衙門ヲ通政使司ト云フ、一四五ナ

器使。徳ヲ看テ、任職ニ稱、用フルヲ、器使ト云フ、

開箱。娼娶後、娘家ノ來來調ヘタル、衣・服・靴・襪・襪・等ノ物

ヲ、長輩ニ進、使喚衆ニ分ケ給ヲ、開箱ト云フ、一四六ナ

高躡。棍ノ末尾ニ横木ヲ設、脚底ヲ横木ニ踏控、支翹、行テ

戲者ヲ、高躡ト云フ、一四六ナ

水駱駝。嘴長ク、脊黃香、頭ニ雀癩有リ、喙ノ下ニ長キ毛

垂ニ生タリ、脰前鬣駝ノシ、

器。金・銀・磁・木・等ノ物ニテ作りタル、何ソ物ヲ盛ル者ヲ

皆器ト云フ、一四七ナ

精金。折タル金ノ葉ヲ、土ノ磚ニ夾、火ニ放烤テ、又好爲ク

ル者ヲ、精金ト云フ、一四八ナ

水錫箔。錫ヲ至テ薄ク折打、紙ニ粘、作りタル者ヲ、水錫箔ト云フ、一四九ナ

——純真女子短大常勤講師——